

医療法人陽心会プレゼンツ ヘルシーセッション

これから食品保健指導士さんが地域のリーダーとして育ってくれればと思っています。



松井 利郎 × 稲村 伸二

まつい としろう

九州大学農学研究院生命機能科学部門食料化学工学講座(食品分析学研究室)教授
1991年九州大学農学研究科食糧化学工学専攻博士課程修了(農学博士)。96-97年、ドイツ連邦食品化学研究所在外研究員。現在、西日本機能性食品開発研究会実行委員長、日本食品科学工学会交流委員会委員なども兼任。

いなむら しんじ

アサヒフードアンドヘルスケア(株)ヘルスケア事業本部学術部エグゼクティブ・プロデューサー
1990年東京理科大学薬学部卒業後、同年アサヒビール入社。94年にアサヒビール薬品(現・アサヒフードアンドヘルスケア)へ出向後、06年に茨城工場長。12年より薬粧管理部副部长と兼務にて現職

今回は、沖縄で初めて開催された「食品保健指導士」の認定セミナーに講師として来沖されたお二人が、健康食品の現状と未来や問題点、健康維持に最適な食材についてお話しします。専門家同士による興味深いセッションをどうぞ。

稲村 私どものアサヒフードアンドヘルスケアは、アサヒグループの一員としてお客様に健康で豊かな生活をご提供することを目指しております。私の主な業務としては、当社及び委託先の製造工場が医薬品・医薬部外品・化粧品等の各GMP(適正製造規範等)に適合しているかどうかをチェック

ずつ近づいていけるのかなと思います。「のどを通りづらい」「服用する錠数が多い」などの要因があると、なかなかお客様に継続していただけません。続けていただけるようなアプローチをひとつずつやっていかないといけないと感じています。

キーワードは「発酵食品」

松井 実は一番雑食な人種って日本人なんです。中国人もそうですけど、日本人はそれ以上に食べてきて、長い時間をかけて涵養(かんよう)してきているんです。そこを踏まえたうえで私が注目しているのは「発酵食品」です。まだまだポテンシャルがあるんじゃないかと。ある種のペプチドが存在しますし、それを発酵させる発酵菌もある。ですから普段の食生活を通して健康維持を考えると、キーワードは発酵食品です。お薬はややもすると1対1での疾病改善、あるいは予防じゃないですか。食べ物というのは先ほども言ったように「全員で頑張りましょう」という複合体なんですよ。だから発酵食品ということ。稲村 同感ですね。弊社はビール会社の関連企業であり、ビール自体も発酵食品です。私たちはビールを造ったあとの酵母を2次利用したビール酵母の製品を扱っており、酵母がいろんなポテンシャルを持っているということを実感しています。あと松井先生がおっしゃるように、植物エキスというのは単体ではなくていろんな成分が組み合わさることで何かしらの結果が出る傾向があります。ですからそういう部分を専門家の方のご協力をいただきながら解明できるようになればいいと思います。

しながら、より高いレベルを目指そうというものです。いわゆる健康食品というのは医薬品と違って、効能や服用量などを国が承認するというプロセスがないんですね。ですからお客様に適切に使っていただくために、松井先生のような専門家の方に相談して、成分に対するアプローチの仕方などを指導していただいているんです。

松井 私は主に食べ物の生体調節機能について研究しています。例えば、循環器系疾患や高血圧、糖尿病、動脈硬化などが食べ物によって予防できないかということですね。現在は、主に血圧の上昇を抑えるペプチドという物質を主体におきながら、ある種のポリフェノールやその他の食品成分といったものをターゲットに研究しています。ポリフェノールというのはあくまでも一般的な名称で、その中にはアントシアニンとかイソフラボンなども含まれています。余談になりますが実は私、御社のポリフェノールを使って研究していたんですよ。稲村 そうなんです。偶然ですね。松井 ポリフェノールというのはいくつもあるのですが、リンゴポリフェノールの約半分を占めるプロシアニジンにしてもいろいろ大きなものが出来ます。私たちが研

食品保健指導士に期待すること

稲村 食品保健指導士とは、日本健康・栄養食品協会が認定・登録する健康・栄養食品に関する専門アドバイザーのことで、私は指導士の方に「町の身近な健康相談アドバイザー」になっていただきたいと思っています。今はそういう職種が社会的になかなか出来上がっていないのが現状ですから。

松井 私は食べ物とは一体何なのかという根幹の部分を理解されている指導士さんを望みます。例えば沖縄にも独自の多様な食品素材や伝統素材がありますよね。それを個々に「こういう機能があります」というのではなく、食べ物全体でいろんなことがあり、何が重要なのかをしつかり説明できることが重要だと思っています。

稲村 そうですね。食材の多様性の部分でいうと、その地域に足りているものや逆に不足しているものがあると思いますので、地域性に合わせたアドバイスが出来ることも大切だと思います。そういう指導士さんがどんどん増えていけば、松井先生のおっしゃる健康寿命というのがどんどん伸びていくんじゃないでしょうか。

松井 あとは沖縄という地域だけで完結するのではなく、他の地域の方との交流を深めていただいて、食べ物の奥深さというのを理解していただきたい。これからはそれぞれの地域でリーダーになる人が必要だということです。今までは薬剤師さんが担っていました。これからは食品保健指導士さんが地域のリーダーとして育ってくれればと思っています。

究対象としたプロシアニジントリマーの生理作用は昨年のヨーロッパ・ジャーナルオブ・ファルマコロジーにも掲載されています。御社にも掲載誌をお送りしていますよ。稲村 そうですか。では帰ったら確認するようにしましょう。先ほどのリンゴポリフェノールに関して言えば、当社はグループの一員であるニッカウキスキーが製造していたシードル(リンゴを発酵させたアルコール飲料)開発の技術を応用した健康食品も製造しており、好評を博しています。

チームワークとしての健康食品を

稲村 最近では国の政策として医療費をどう抑制するかという点ばかり注目されていますが、私は国民が健やかに人生を全うすることのほうに価値があると考えています。そのためには有意義な食生活を送ることが大切であり、その発想を個々の消費者の方にも持っていただきたいと思っています。

松井 確かに稲村さんがおっしゃるように、これからの健康食品産業のあるべき姿というのは、医療費抑制だけの問題ではなく、健康年齢をいかに引き上げることというのが大きな問題です。日本はいわゆる「生涯年齢」と健康年齢のギャップが大きいんですよ。つまり「寝たきり老人」が多いということです。そのギャップを埋めてくれるのが健康食品であり、機能性食品であるということです。だからと言って、機能性の高いものを服用しただけで健康年齢が上がることはならない。食べ物はお薬とは違うので、色、香り、味のほかに会話を楽しみながら

ケアハウス常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036
小規模多機能型ホーム牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025
地域交流センター牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025
小規模多機能型ホーム三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027
地域交流センター三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027
(提携)小規模多機能型ホーム辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070
(提携)地域交流センター辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070
(提携)有料老人ホーム松風邸
那覇市辻2-10-4 TEL.098-869-8557
那覇市地域相談センター若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-863-1165
辻老人憩の家
那覇市辻2-14-1 TEL.864-0580

社会福祉法人 陽風会
(提携)有料老人ホーム健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070
デイサービスセンター安里
那覇市安里388-5 TEL.098-886-0328
デイサービスセンター三原
那覇市三原1-31-20 TEL.098-840-0051
辻町若狭クリニック
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0012
(提携)小規模多機能型ホーム若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550
(提携)地域交流センター若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0552
(提携)グループホーム若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551
壺川老人福祉センター
那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139

医療法人 陽心会
理事長 高良 健
(提携)ヒルズガーデンクリニック
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0333
(提携)ヒルズガーデン那覇
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0300
介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030
在宅総合ケアセンター陽心会
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030
大道老人訪問看護ステーション
那覇市大道128 TEL.098-885-2885
グループホームたかまーみの家
那覇市安里3-1-47 TEL.941-0080
(提携)那覇市地域相談センター末吉
那覇市首里末吉4-6-1大明ビル1F TEL.098-885-0178
(提携)福祉用具貸与・販売事業所
那覇市安里128 TEL.098-885-0100

大道中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)
美容形成部門 TEL.098-869-0066
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050
メディカルプラザ大道中央
那覇市宇大道123 TEL.098-886-0007(代)
一般内科部門 TEL.098-869-0711
循環器部門 TEL.098-886-0072
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-0078
小規模多機能型ホーム大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0018
地域交流センター大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0056
グループホーム大道が丘
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0036
(提携)メディカルエステ大道
那覇市安里3-1-3 TEL.869-0018
(提携)福祉用具貸与・販売事業所
那覇市安里128 TEL.098-885-0100